

第 12 回葉山町子ども・子育て会議 議事要旨

- 1 開催日時
平成 27 年 7 月 17 日（金）10 時～12 時 15 分
- 2 開催場所
葉山町役場 3 階 協議会室 1
- 3 開催形態
公開（傍聴者 1 名）
- 4 出席者
委員 15 名出席（定足数〇）
欠席 8 名（角井委員、溝端委員、滝澤委員、鈴木委員、重松委員、小林委員）
- 5 議事（事務局メモ）
 - (1) 開会
(事務局)
 - ・ 福祉部長あいさつ
 - ・ 自己紹介
新委員（羽田委員、北原委員）の紹介
 - ・ 傍聴について確認
 - ・ 資料の確認
 - ・ 進行を会長に依頼
 - (2) 前回の確認
第 11 回子ども・子育て会議議事要旨について
(事務局)
 - ・ 子ども・子育て支援新制度一般向け勉強会についての報告。実施結果の報告。参加者が少なかった。次年度も継続するか検討し、実施する際の改善点などを議論した。具体的な内容は、翌年度あらためて検討する。
 - ・ 子ども・子育て支援事業計画の策定について、事務局で計画案の修正
 - ・ 今後の放課後の居場所づくりについて、児童館との分離を基本とし、民間団体による運営を進める。放課後子ども教室については、次年度も検討。
 - ・ その他、町長への報告事項
 - ・ 会議の構成員の変更について

(3) 議題1

平成26年度の実施報告と平成27年度の実施予定について

◎ 平成26年度のふりかえり

<平成26年度の町長への報告事項の要旨>

(資料1)

① 中間報告(平成26年4月28日)

- 子どもの遊びの環境について
- 放課後の居場所づくりについて
- 保育・子育て支援の担い手の確保について
課題と求められる方向性について確認し報告

② 27年度予算に向けた報告(平成26年11月21日)

- 保育の必要性の認定にあたっての就労の時間の下限の設定について
- 新制度施行に伴う利用者負担(保育料)の設定について
- 当面の学童クラブのあり方について
課題、対応案、留意点について確認し報告

③ 最終報告(平成27年3月27日)

- 教育・保育及び地域型保育事業について
- 地域子ども・子育て支援事業について
- 保育・子育て支援等の担い手の確保について
重要な論点の概要と今後の方向性の観点から検討状況を報告

◎ 平成27年度の実施予定について

(資料3)

子ども・子育て会議は、年4回の実施予定

9月 教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の確保方策等を検討、9月時点の数の検証

11月 平成28年度予算事項の報告、方策等の検討

3月 教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の量の見込みの検証

- ・委員 一般の方向けの勉強会のスケジュールを知りたい。そのこ

とが準備作業に書かれていないので今後どのように考えているか。今後続けていくか確認したい。新制度を知ってもらおうということ以外でも意味があるので、何をやるかということも次回の前に話し合いたい。

→ 確かにそのとおりです。昨年度は、制度を知らない方がたくさんいるので、そういう中で一般向けの勉強会をやったほうがよいということでイベントを開いた。今年度も同じ内容でやるかは、何をテーマにやるかということまでは、まだ検討している。

次回の会議の前に、委員の方に照会し、検討したい。

→ 補足ですが、今の今年度のスケジュールの説明の内容は、概ねのものだけで、これだけを今年度はやるということではない。審議会では、総合的な計画のことや量の見込みの検証もやっていく。神奈川県は、今年度は会議を2回しかやらない。2回目は、27年度の実績で町としても検証結果の分析をしろということになっている。他市の会議の開催も10月以降が意外と多い。

・委員 勉強会の内容を9月に話し合いますということでしょうか。新制度を知ってもらうことから、良い子育てをするために葉山は何をしたら良いか、皆で理解していくというところにシフトしてきた。意見の吸い上げの機会でもある。その引継ぎをどなたがやるかを決めてほしい。

→ 勉強会では、何をやるか、内容まではまだ議論できていない。

・委員 コンシェルジュや保育料の検討、学童の全児童向けの引き続きの検討は会議のスケジュールの中でどこに入っていくのか。

→ 何をやるか、内容までは議論できていない。予算に合わせたことの検討、つみ残したことの検討、年度末の検証などとあわせて少しずつ入れていく。どこの日に何をやるかという具体的な内容まではまだ、決まっていない。

・委員 幼稚園、保育園の量の確保は、少し動いた。これとは別の地域子育て事業の13事業をどうするか。どう葉山らしくしていくか。町は、実施主体として具体的にどう取組むかは、量の見込みとか確保策、待機児童とかとは別の話である。利用者支援、コンシェルジュなどのあり方検討会をつくっている市町村もある。自主勉強会など次回の前にスケジュー

ールをたてておみせいただきたい。今は、見えてこない。

- ・委員 今回の会議は、何をやるかが見えていない。委員の皆様はそういう意味の意見を言われている。9月の会議のときに考えていくというのでは遅れてしまう。事前に各委員に意見を求めて返事をもらい、項目をたてて決めていただきたい。
- ・委員 限られた時間で議論できない。今までも委員の自発的参加を行ってきた。話し合うことに意味があるならあらかじめ集めて欲しい。
- ・委員 会議の時間が2時間半から2時間になった経緯や回数を増やすことはできないか。
 - 昨年度は、子ども・子育て事業計画の策定のためのポリシーが多く、回数も多かった。今年度はその検証の年である。今年度は、他市町村と比べても回数は適当と考えている。回数を増やすには、予算のことや理由づけも必要である。次回は、何を今年度は、会議で何を行うかというご意見や会議の効率性のこと、また自主勉強会のことなどを検討し、次回の会議の前に委員の方に提供したい。

<報告事項>

(1) 現在の保育園整備状況について

- ホームページ掲載中の整備中の保育園について報告 (資料2)

現在の保育園整備状況について

① おひさま保育室

8月1日開所予定

② 葉山ぎんのすず保育園

9月1日に開所予定

説明会を広報7月号とホームページに掲載

(第1回目6月26日(金)、第2回目7月10日(金)、あわせて63組の参加。)

現在の募集状況は、7月13日で募集を締め切ったが定員に満たない。2歳児以上は、2次募集。

0歳、1歳の申し込みが多い。2歳以上が少なく、4、5歳が特に少ない。

- ・委員 ぎんのすず保育園の応募が足りていないのは、求めているものと合わないからか。

- 0歳児と1歳児は多くの申し込みがあった。2歳児以上の申し込みが少ない。特に4、5歳児で幼稚園に行っている児童が少ないのは、年度途中のため、転園があまり考えられないからかもしれない。
- ・委員 0歳児、1歳児は皆、入れたのか。
 - まだ、決定していない。0歳児は、定員と同じぐらいの申し込みがあった。1歳児は、定員の倍以上の申し込みがあり、全員は入れない。
- ・委員 0歳児、1歳児、2歳児を多く確保する施策が必要ではないか。
 - 1歳児の定員10名の面積基準など無理をすれば可能である。しかし、来年は、受け入れられなくなる。繰り上がると下の年齢の子を受け入れられない。そのバランスは、事業者の判断になる。こちらからは、法人に弾力的に定員より多く引き受けてくださいとお願いする。法人は、保育士の3対1の割合や面積基準など繰り上がった時に入れる教室があるかということを含めて考えている。
- ・委員 毎年、人数変更の可能性はあるか。
 - 定員の2割増しまでOKである。60人だと72人まで可能である。定員を超えないものは、年齢の変更は可能であるが、経営者側の判断になる。
- ・委員 全体で定員割れでも1歳児は定員超えのため入れないということもあるか。
 - そうです
- ・委員 今、一時保育がいっぱいである。空いているスペースがもっていない。
 - 余裕があれば一時預かりを考えている。しかし、保育士の人数、経営面も考えないといけない。10月や11月から入所することもあるかもしれない。こちらからは、子ども・子育て支援事業計画の中で一時預かりが足りていないということもあるので、園にはお願いはする。
- ・委員 今、保育士の対応はOKか。今、新聞で保育士の職場復帰の支援、地域限定の試験などの方策などが載っていた。葉山町は、保育士は足りているか。
 - 今度の保育園は、定員をマックスとして保育士を確保している。町でも足りていないということはない。先日の県の会議で、平成27年度に県内の地域限定保育士の試験をやる予定

だったが、国の動きが遅く、来年4月以降の試験と聞いている。

(2) 待機児童数について

- 保育所等利用待機児童数の状況について（神奈川県記者発表）
（資料4）

神奈川県の待機児童数は、5年連続で減少し、1,000人を下回る。
保育所定員数の状況も12,100人の定員増

- 平成27年度4月1日現在の葉山町の待機児童数について（資料5）
平成21年度から毎年30人前後だったが平成23年度は、にこにこ保育園が増築し、25名定員数が増えたので19名に減った。
平成27年は、40人と昨年より増えたが、二つの保育園の開園の延期が影響した。年齢別の待機児童数の状況は、神奈川県と同じで1歳児が多く27名いる。保育所の利用申し込み数329人は、継続も含んでいる。利用児童数276名と昨年の255名より増えているのは、小規模保育園が増えたためである。資料5の待機児童数53名から国から通知の保留理由に該当するものを引いた40名が待機児童数である。資料に国通知の抜粋と数え方の定義を載せている。

(3) 学童クラブ、子育て支援センターについて

- 現在募集している学童クラブ運営事業者募集について（資料7）
入会希望者を少しでも多く受け入れるために運営事業者を募集している。10月から、民設民営で行う。6月22日から7月17日の17時まで受付。学童クラブの定員は40名。

- 放課後児童健全育成事業（学童クラブ）登録者数一覧表（資料8）
現在の学童の登録者数。公立学童は、144人、民間学童は、77人
合計221人（H27.5.1現在）
3月下旬から、にこにこ学童クラブが長柄会館で始まった。

- 平成26年度子育て支援センター活動実績報について（資料6）
平成25年度よりひろばの来館者が、1,800人減った。理由は、ひろばの時間が9時から15時までと短くなり、時間数が減ったためである。

・委員 学童の選考基準はみせてもらえるのか。選考は公開で行うの

- か。
- 選考基準はHPで公開している。
 - ・委員 設置・運営の要件で開所時間の休業日は夏休みか。
 - 長期休みと土日祝日
 - ・委員 休業日はなぜ17時までか。仕事している人は夏休みの時に困る。19時に変更できないか。
 - 事業者が決まった段階で事業者と話していきたい。
 - ・委員 一色小の新館は、市民活動の利用が多く、車の出入りが激しい。子どもの安全の確保や交通の便のことはどうなっているか。
 - 学校と話をしている。先生もこのことは気にしている。学校と安全対策のルールをつくらうとしている。歩行者の通る道とか指導員の見守りとかの協定を結ぶことを考えている。一色小学校のルールに基づいたものをつくる。今回は、保護者は、送迎のため車で学校へは来てはいけないというルールを学校側と約束した。
 - ・委員 学童の事業者がどういうところになるかは、親にとっても大事なので公募した人をどうやって決めるのか、公開のプロセスはないのか。
 - 先進の大きな市では公開している。葉山町は、公開のルールがない。保育園の事業者の募集も公開では行わなかった。子ども・子育て会議の委員の方に選考に入っていただくことを今は考えている。
 - ・委員 学童クラブの運営事業者の募集は、知らなかった。私どもも駐車場の確保はできていない。路上駐車の問題もでてくる。遊び場の確保も気になる。長柄は御霊神社が遊び場だが、一般の子どもも多く、一般の子とのすみわけの問題もある。苦情もある。一色小学校は自由に使えるのか。遊び場の確保は、事業者の悩みである。いかに小学校のグラウンドを一緒に使えるかということが大事だ。
 - 実は、今、私たちが先生達と交渉している。一色小のルールの内容を次の会議で示すことができればと思っている。水飲み場の一般の子とのすみわけ、腕章をつけるとか話はでている。
 - ・委員 多分、先生は学校側としての意見を言われている。私は、保護者側なので残念だ。子どものなかで線ができてしまう。

可哀想である。腕章ぐらいいいだが、水飲み場のすみわけは疑問である。子ども達や親の間でもそういう言葉を言わなくてはいけないのか。きっちりとやらないといけないのか。

- ・委員 学童の子も一色小学校の児童に変わりはない。学童を休めば一般の水を使えるのか。基準が堅苦しい。一般の感覚からは、なじめない。
 - これまで、ずっと学童を学校でという意見をいただいていた。やっと今が最初の一步である。今後は、一色小学校の学童がモデルケースになる。慎重に話し合っている。学校側もけががあつたらどうしようと不安である。教育委員会とも協力して進んでいければと思う。
 - ・委員 学校区とか私立のお子さんはだめとかくくりがあるのか。
 - 一色小の1年生～6年生を対象にしている。私立の子で近くに住んでいる児童なら利用可能である。
 - ・委員 上山口児童館の学童は、地域の子と差がつかないようにする方針で行っている。遊んでいる子は、皆、地域の子である。宿題も一緒にやっている。
 - 横須賀のある小学校を見学に行ったときに先生が言われていたことは、みんなまとめてみていると。ルールはない。うちもそうあるべきだが、ただし、お金を払って行うため、おやつとか見えないところでの区別の仕組みは必要である。
 - ・委員 第三者委員会を設けないのか。外の立場からの評価を第三者機関はやるのか。
 - 第三者機関、つまり、トラブルがあつた時とか全般的なものか。
 - ・委員 いろんなことがあるのでルールも第三者機関も必要と思う。うちの学童の例で難しい家庭のお子さんが出て、その子が学童以外の子どもと遊びたいということを認めている。今後の成長もあるので、学童以外の子を連れてきて遊んでいる。一緒に安心して遊ぶことにも意味がある。そういう面でも見守り、かかわっていくことも大事だ。事業者と学校との綿密な打ち合わせも必要になる。
 - ・委員 以前、町長が「学童ができたら、高学年も使ってもらえるのか」といわれたことが記憶にある。応募の状況を知りたい。
 - 今は、事業者の募集を行っている。
- 会長 学童を今後も審議として取り上げるということでよいか。

(委員 了承)

議題 2

その他

- ・ 会長 最後に議題 2 のその他について何かございますか。
- ・ 委員 一色小学校の学童は、ありがたい。長柄下は、低学年の子育て中の方が多い。長柄下の地域で何か考えていることはあるか。また、きょうは、戸塚のこまちプラザの森裕美子さんの資料を持ってきたので後でお渡しする。逗子市の池子公園に良い施設ができた。子どもの居場所ではっとできるスペースである。今後、長柄下のことも含めて子育て会議の中で考えて欲しい。

6. 閉会 (事務局)

- ・ 次回は 9 月に予定しており、あらためて日程調整を行う。
- ・ 今回が最後になる委員の紹介。(鹿嶋委員)
- ・ 委員 この会議で言いたいことは、言わせていただいた。主任児童員として 7 年半の自分の経験をお話した。今後は、一町民としてかかわっていきたい。

(全員拍手)

以上